

まちの話題

市内の話題を紹介

養蚕事業に新たな隊員が着任

4/24

北上市地域おこし協力隊委嘱状交付式

北上市地域おこし協力隊委嘱状交付式は本庁舎で行われました。将来の養蚕経営者プロジェクトの2人目の隊員として着任した高橋愛衣さんは、幼いころから昆虫が好きだったことや、当市が父の出身地であることをきっかけに、同プロジェクトへの挑戦を決意。今後は養蚕技術の習得のほか、前職の埼玉県職員時代に培った知見を生かして普及活動などに携わります。

高橋さんは「受入れ団体や地域と一緒に勉強させていただきながら取り組みたい」と抱負を語りました。



疫病の早期終息を祈願

4/19

鬼剣舞による「疫病退散の舞」奉納

新型コロナウイルス感染症の早期終息を願う「疫病退散の舞」は市内各所で奉納されました。北上鬼剣舞連合会の13保存会は、密集を避けるため各地に分散し、15時から一斉に一番庭などの演目を披露。疫病の退散を祈願するとともに、亡くなった人を供養しました。

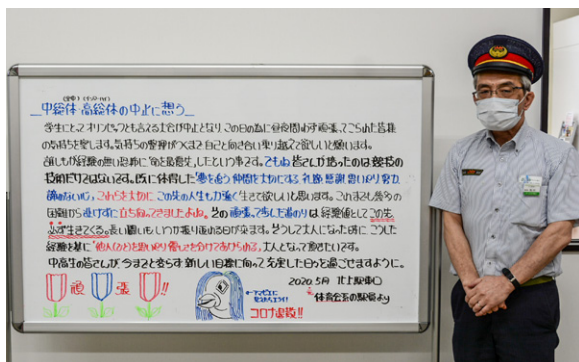
同連合会の菅原晃事務総長は「重苦しい雰囲気但至少でも払いたかった。開催するか悩んだが、祈りを全国に発信したい気持ちが大きかった」と思いを語りました。（写真は上鬼柳公民館前で舞う鬼柳鬼剣舞）

体育会系の駅員がエール

5/13

JR北上駅にメッセージボード設置

全国中学校体育大会と全国高校総合体育大会の中止を受けて、5月20日までの期間、JR北上駅東口改札口付近にメッセージボードが設置されました。これは、JR東日本東北総合サービス北上駅東口業務長の石川伸也さんが「頑張って歩んだ道りは経験値としてこの先必ず生きてくる」など運動部の生徒を励ますメッセージを記したものです。自身も高校時代にレスリングに打ち込んだ石川さんは「気持ちの整理がついたら、今まで同様に全力で進んでほしい」と願いを込めました。



展勝地に満開のヒマワリを

5/11

展勝地ひまわり畑プロジェクト

展勝地ひまわり畑プロジェクトのメンバーは展勝地公園で種まきを行いました。昨年からの岩崎地区でヒマワリ畑を作っているメンバーが作業を行い、7月下旬ごろに約4,000本ほどのヒマワリが見頃を迎える見込み。リーダーの佐藤孝志さんは「夏でも展勝地を楽しめるようになれば嬉しい」と話しました。

同プロジェクトは展勝地開園100周年に向けた記念事業の一つで、同公園の一部を花畑として活用するもの。今後、スイセンや菜の花を植える事業も行う予定です。